

防災・減災教育モデルカリキュラム

阪神淡路大震災や東日本大震災以降、地域や学校において防災・減災に対する意識が高まってきており、避難訓練等の防災・減災教育に対する取組も広がりを見せています。大阪市では、平成27年2月に大阪市防災・減災条例が施行され、令和5年4月に大阪市地域防災計画の修正が行われるなど、学校現場においてもますます防災・減災教育が重要視されています。

学校現場においては、これまで取り組んできた防災・減災教育を引き続き行うとともに、防災・減災に関する学習内容・活動内容（国語や算数・数学などの教科や道徳も含む）を児童・生徒の発達段階や学習目標に応じて系統的・横断的に展開できるような取組を進めます。また、分権型教育行政の強みを生かし、区との連携を図ることで地域の実情をふまえた充実した防災・減災への取組ができるものと考えます。

こうした経緯を経て、防災・減災教育の実践を計画的・継続的に展開するため、各教科や領域の枠を超え、これらを横断的・総合的に接続した「防災・減災教育モデルカリキュラム」を策定しました。この「防災・減災教育モデルカリキュラム」をもとに、各学校は区の状況に応じて創意工夫した「防災・減災教育カリキュラム」を作成し、幼児・児童・生徒の発達段階に応じた防災・減災教育の充実を図っていきます。

※「発達段階に応じた目標」は、幼稚園から中学3年生までにおさえるべき目標をまとめたものです。

※「学年別防災・減災教育モデルカリキュラム」では、各教科、領域から防災・減災に関連する単元や教材を学年ごとにピックアップしました。また、それらの授業の中で中心的に、また追加的に扱う内容についてまとめました。内容の覧には、小学校及び義務教育学校前期課程（以下、小学校）については、大阪市が令和6年度より使用している教科書・資料、中学校及び義務教育学校後期課程（以下、中学校）については令和7年度より使用する教科書・資料のページ数を記入しております。使用教科書については次のとおりです。

【小学校】

- ・国語…東京書籍 ・社会…東京書籍、日本文教出版 ・算数…啓林館、東京書籍、日本文教出版 ・理科…啓林館
- ・生活…教育出版、東京書籍 ・保健…学研、東京書籍 ・図画工作…開隆堂、日本文教出版
- ・道徳…日本文教出版

【中学校】

- ・国語…三省堂 ・社会（地理的分野）…帝国書院 ・社会（歴史的分野）…帝国書院、東京書籍、日本文教出版
- ・社会（公民的分野）…帝国書院、東京書籍 ・数学…東京書籍 ・理科…啓林館、東京書籍
- ・美術…日本文教出版、光村図書 ・保健体育…東京書籍 ・技術家庭…開隆堂、東京書籍
- ・英語…開隆堂、東京書籍、光村図書 ・道徳…あかつき教育図書、日本文教出版

防災・減災教育モデルカリキュラム
発達段階に応じた目標

		知識・思考・判断	危険予測・主体的な行動	社会貢献、支援者の基盤
地域に生きる	幼	・ 日常の園生活において、危険な場所や遊び方を知り、安全な行動の仕方がわかる。(自助) ・ 災害発生時の行動の仕方がわかる。(自助)	・ 指示に従い、安全に行動できるようにする。(自助) ・ 素早く安全に行動する。(自助)	・ 先生や友達と協力して活動に取り組む。(共助)
	小1・2	・ 友達や身近な人たちへの関心を高め、仲良く行動できるようにする。(共助) ・ 学校や校区にある安全な施設について知る。(自助)	・ 指示に従い、安全に行動できるようにする。(自助) ・ 素早く安全に行動する。(自助)	・ 集団の一員であることを自覚し、自分の仕事に責任をもって取り組む。(共助)
地域を知る	小3・4	・ 自然災害について知り、自ら安全な行動をとるための判断に生かす。(自助、共助) ・ 命の大切さについて考え、状況に応じて自らの身を守ることができる。(自助)	・ 自然災害によって起こりうる危険を認識し、自ら安全な行動をとることができる。(自助)	・ 災害発生時や発生後に、地域の一員として他の人の安全に役立つ。(共助)
地域とともに	小5・6	・ 地域で起こりやすい災害や過去の災害について理解し、安全な行動をとるための判断力を養う。(自助、共助) ・ 被害を軽減したり、災害後に役立つものについて理解したりする。(共助)	・ 自然災害によって起こりうる危険を認識し、自らの安全を確保することができる。(自助)	・ 自他の生命を尊重し、災害発生時や発生後に、他の人や集団、地域の安全に役立つことができる。(共助)
	中1	・ 自然災害の歴史や仕組みについて理解し、地域の防災について考える。また、自らの身を守る判断力を養うとともに、社会貢献の大切さについて理解する。(自助、共助)	・ 自然災害によって起こりうる危険を予測するとともに、災害発生時には身近な人々の安全にも気配りができるようにする。(自助、共助)	・ 自然災害に備え、地域の一員として課題を解決しようとする自主的・実践的態度を身に付ける。(自助、共助)
地域のために	中2・3	・ 地震・津波に関するメカニズムなどの災害や地域の特性について理解を深める。また、災害への日常の備えや的確な避難行動、社会貢献の大切さについて理解を深める。(自助、共助)	・ 自他の安全に対し、責任ある行動をとるとともに、災害発生時には他者と協力して、災害弱者を助けたり、適切な応急処置を行ったりすることができる。(自助、共助)	・ 自他の生命を尊び、他者の生き方を尊重する態度を身に付ける。(自助、共助) ・ 安全な社会づくりのために貢献しようとする態度を身に付ける。(自助、共助)